

医療安全情報 レポート

vol. 2

看護技術を安全に実施するための知識や技術は変化しています。医療・看護安全委員会では、前回から現場に活用できるホットな情報をシリーズでお届けしております。

今回は、前回に引き続き、採血時の手技に焦点をあて、「血管を怒張させる手技」を紹介します。最近の知見ではありませんが、ぜひ再確認していただきたい内容です。

「標準採血法ガイドライン」（日本臨床検査標準協議会出版）等の文献で示されています。

血管を怒張させる手技「～グーパーしていませんか？～」

- 手首から肘の方に向けて前腕をマッサージする。
- 人差し指と中指で血管を数回軽く叩く。
- 上記で血管の怒張が得られない場合は、一旦駆血帯を外し、40℃程度に温めた濡れタオルをビニール袋に入れたものなどで、穿刺部位付近を温める。

強く手を握ることや、何度も手を握ったり開いたりを繰り返す（クレンチング）と、筋肉内の細胞からカリウムが流出し、カリウム値が上昇します！



▶ 次回は採血器具に関する諸注意をお届けします。